

くらべて、選ぶ

年 組 番 名前 _____

この紙のゴール：同じ観点で2つを比べ、対比の語でつなぎ、最後にどちらかを選び切る

お題 Compare the two and say which one you would choose.

2つをくらべ、どちらを選ぶかを1段落で書きなさい。「どちらもいい」で終わらない。(55語くらい) **思考・判断・表現**

書く前に

- 1. 表を見て、ちがいが大きい観点を2つえらぶ(日本語でよい)。
- 2. 設計図の順に英語にする。1つの観点の中で必ずAとBの両方に触れる(片方だけ長くしない)。

資料 Two ways to study English outside class

	Cost	When	Who with
A. Online lessons	3,000 yen a month	any evening	one teacher
B. Study group	free	Saturday only	three classmates

授業用の例です(実在のサービスではありません)。学校のまわりの数字に置きかえられます。

気づきメモ ちがいが大きい観点を2つ、日本語で。下の候補を使ってもよい

くらべる言い方	while/whereas/On the other hand,/more ... than
観点1	
観点2	

設計図 この順に書く

1	何と何をくらべるか(1文)	何と何を並べた表かを1文で。数字は要らない。 This table compares ... and
2	観点1(1~2文)	1つ目の観点。AとBの両方に触れ、対比の語でつなぐ。 In terms of ..., A ..., while B
3	観点2(1~2文)	2つ目の観点。ここでも両方に触れる(片方だけ書かない)。 As for ...,
4	どちらを選ぶか(1文)	自分ならどちらか。ここで初めて「私」が出る。 If I had to choose, I would choose

書く 55語くらい **思考・判断・表現**

読み返す 書けたらペアで交換して、この3つだけを見る

- ☐ 1つの観点の中で、AとBの両方に触れているか
- ☐ 対比の語(while / whereas)が入っているか
- ☐ 最後にどちらかを選び切ったか

くらべて、選ぶ（基礎） | モデル答案と採点

モデル 和訳なし（読み上げて型だけ確認する用）

モデル（56語）

This table compares online lessons and a study group at the library. In terms of cost, online lessons are 3,000 yen a month, while the study group is free. As for time, the lessons are open any evening, but the group meets only on Saturday. If I had to choose, I would choose the study group.

どこで差がつくか

モデルには、AとBが必ずセットで出てきます。片方だけを続けて書くと、何が起きるでしょう。
読み手が比べられなくなります。Aを3文読んだところにはBの数字を忘れ、そのつど表に戻られるからです。

つまずき 返ってくる答案の型（誤答例から書いた指導のことは）

片側だけ長くなる	Aについて3文、Bについて1文—いちばん多い崩れ方。1つの観点の中で必ず両方に触れると決めれば直ります（設計図を観点で切っただけのはこのため）。
「どちらもいい」で終わる	Both are good. は読み手が最初から知っていること。選ぶ1文が結論です。迷うなら、自分の基準を1つ決めてから選ぶ。
比較級の「相手」がない	... is more convenient. は何より便利なのかが無い。比較級のうしろには than—表の上で比べている以上、相手は必ず紙の上にあります。

評価 加点式9点（減点式にしない）

何と何を比べているかを1文で示している	+2	思判表
1つ目の観点で、AとBの両方に触れている	+2	思判表
2つ目の観点でも、AとBの両方に触れている	+2	思判表
最後にどちらかを選んで言い切っている	+2	思判表
通して読んで意味がとれる（細かい誤りは数えない）	+1	知技

01「データを説明する」が1つの調査を言葉にする型なら、こちらは2つを並べて選ぶ型。定期テストに移すなら同じ表を配って60語以内・10点（内容4・構成3・言語3）が扱いやすく、構成の3点は「観点でそろっているか」に当てられます。

40人を回す 週1で書かせても採点で潰れないための手順

- ・表は1つ作れば1年使えます。自分の学校の実情（塾と自習室、部活2つ、通学手段2つ）に置きかえると、選ぶ場面が本物になります。
- ・配分は書く10分+3つの目3分+良い段落を2本映して5分。「選ぶ1文」だけを読み上げると、同じ表から違う結論が出ることが一目で伝わります。
- ・01を先にやった学級は、書き出しが同じ形（This table ...）なので標準版から入れます。

3つの版の使い分け 論題・書く型・測る力は3版共通で、変えているのは支援の量だけです（基礎＝理由の候補と書き出し語を全部／標準＝立場と譲歩だけ／発展＝型のみ、譲歩に切り返しの1文）。同じクラスで配り分けても、答案は同じ観点で並べて読めます。

